

草津市認知症施策アクション・プラン第3期計画

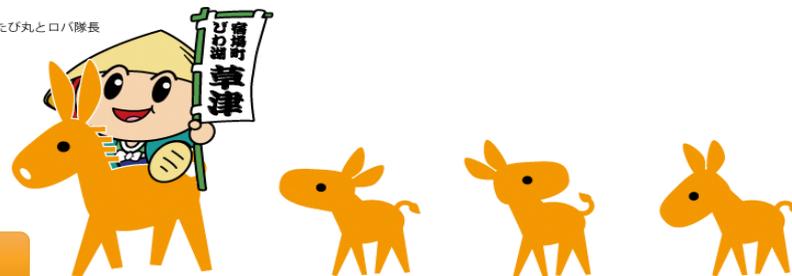
令和3年度の実績・評価について

【評価の基準】

- ：計画通り実施できた
- △：一部計画どおり実施できなかった
- ×：実施できなかった



たび丸とロバ隊長



たび丸とロバ隊長

【基本目標 1】 認知症の正しい知識と理解を深めるための普及・啓発の推進

重点
目標

No	施策（事業）	実施計画	実績	評価
1	認知症サポーターの養成の推進	・ 認知症サポーター養成講座（ステップアップ講座含む）の開催	認知症サポーター養成講座 ・ 開催回数 16回 ・ 受講者数 294人	△
2	認知症キャラバン・メイトの養成の推進・支援	・ 認知症キャラバン・メイトの養成 ・ 認知症キャラバン・メイト交流会の開催	新型コロナウイルス感染症流行のため中止	△
3	認知症市民講座の開催	・ 認知症市民講座の開催	令和3年7月に認知症シンポジウム開催 (参加者) 会場: 78人、ZOOM: 50人	○

基本目標 1 の到達目標と実績

○認知症サポーター数 18,000人（令和3年度実績：15,879人）

○認知症サポーターステップアップ講座受講者数 30人（令和3年度実績：0人〈申込なし〉）

【令和4年度以降の取組】

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、例年より申込が少なく、積極的な受講勧奨ができにくい状況であった。令和4年度からは若年層や現役世代へのアプローチを中心に行う。

【基本目標 2】 認知症の人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

重点
目標

No	施策（事業）	実施計画	実績	評価
1	認知症の人にやさしいお店の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人にやさしいお店の拡充 	認知症の人にやさしいお店 49店舗（事業所）	△
2	認知症高齢者等見守りネットワークの拡充	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者等見守りネットワーク事前登録制度の運用・拡充 認知症高齢者等見守りネットワーク加盟事業所数の拡大・まちづくり協定との連携 メール配信サービス（行方不明者情報）の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者等見守りネットワーク事前登録者数 248人 認知症高齢者等見守りネットワーク加盟事業所数 162団体 メール配信サービス登録者数 3,638人 	○
3	地域見守り体制づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域安心声かけ訓練の実施および実施に向けた各種啓発 小学校区ごとの関係者の集まりの場ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域安心声かけ訓練実施回数 1回（老上西学区） 医療、介護等の関係者が集まる「学区の医療福祉を考える会議」の開催 13学区 	○
4	認知症があっても通える地域の居場所への支援	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体向けの認知症サポーター養成講座の実施 活動団体のPRの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体向け認知症サポーター養成講座実施回数 3団体、38人 いきいき百歳体操実施団体の一覧を市HPで公開 	○

【基本目標 2】 認知症の人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

重点
目標

No	施策（事業）	実施計画	実績	評価
5	見守り体制を推進する人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・脳活教室リーダー養成講座の開催と活動支援 ・生活支援サポーター養成講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・脳活教室リーダー養成講座 受講者 10名 ・生活支援サポーター養成講座 受講者 10名 	○
6	若年性認知症の人やその家族が暮らしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・若年性認知症リーフレット・パンフレットの活用 ・認知症疾患医療センターの周知 	リーフレット等を窓口配置し、啓発を行った。	○

基本目標 2 の到達目標と実績

○認知症高齢者見守りネットワーク事前登録者数 250人（令和3年度実績：248人）

○認知症高齢者等見守りネットワーク加盟事業所数 160団体（令和3年度実績：162団体）

○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において、「認知症があっても住み慣れた地域で安心して生活をするために、どのようなことが大切だと思いますか」で「認知症であることを近所の人に話しておくこと」と回答する人が50%以上（令和元年度調査時：46.1%）

【ニーズ調査は令和4年度実施のため、実績なし】

【令和4年度以降の取組】

・認知症高齢者等見守りネットワークをより一層拡大するため、高齢者および市内事業所の双方に積極的なアプローチを行う。

スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア等

【基本目標3】 認知症の予防等の取組

No	施策（事業）	実施計画	実績	評価
1	認知症予防を実施するサロンや通いの場の活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域サロンや通いの場の活動の支援 ・ 専門職による健康相談等の実施 	<p>一部の地域サロンや通いの場の活動が新型コロナウイルス感染症の影響で自粛となったものの、多くの団体で活動を継続し、認知症予防に取り組んだ。</p> <p style="text-align: right;">地域サロン数 157団体</p>	○
2	生活習慣病および糖尿病予防の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報くさつや市ホームページ、出前講座等による市民への糖尿病予防の啓発の実施 ・ 特定検診検査における糖尿病等の生活習慣病予防の啓発の実施 ・ 「草津・たび丸Kitchen」にレシピの掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康増進のための食生活や健康の保持増進や病気の重症化予防について共に考え、取り組む機会とした。 みんなでトーク実施回数 3回 ・ 特定検診検査の際に糖尿病等の生活習慣病予防について啓発を行った。 ・ 「草津・たび丸Kitchen」に認知症の発症リスクの低減に効果のあると言われるDASH食や地中海食を参考にしたレシピを掲載 	○

【基本目標3】 認知症の予防等の取組

No	施策（事業）	実施計画	実績	評価
3	認知症の早期発見の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域や医療・介護等の関係機関とのネットワークの強化 ・ 認知症簡易チェックシステムの普及・啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との関係づくりを行うことで、早期発見につながる体制づくりに取り組んだ。 ・ 認知症簡易チェックシステム利用者数 3, 508人 	△

基本目標3の到達目標と実績

○地域サロン団体数 160団体
(令和3年度実績：157団体)

○認知症簡易チェックシステムの利用者数 6,000人以上
(令和3年度実績：3,508人)

【令和4年度以降の取組】

・引き続き、地域サロン等への支援を行い、活動団体数の増加に努める。

・認知症簡易チェックシステムの利用者数が伸び悩んでいるため、講座等の機会に周知し、早期発見のためのツールとして活用していただけるようより一層の周知に努める。

【基本目標4】 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の支援体制づくりの推進

くりの推進

No	施策（事業）	実施計画	実績	評価
1	かかりつけ医や地域包括支援センター等の相談窓口のPR	・ 相談窓口のPR	広報特集記事の掲載や転入者へのチラシ配布、JAレーク滋賀と連携した周知等を行い、相談窓口のPRを行った。 地域包括支援センターへの認知症に関する相談件数 2, 341件	○
2	健康状態が不明な高齢者等が適時・適切に医療やサービスにつながる仕組みづくり	・ 健康状態が不明な高齢者等の状況の把握 ・ 高齢者に対する個別的支援 ・ 通いの場等への専門職等の関与	・ 糖尿病の医療機関未受診者の訪問を実施し、実態把握を行うとともに、必要に応じて、地域包括支援センターの支援に繋がった。 ・ 地域包括支援センターが中心となり、個別的支援の検討や介入を行うとともに、必要に応じて、地区担当保健師も共に支援を行った。 ・ 理学療法士や栄養士、医師、薬剤師などの専門職を地域サロン等の通いの場へ派遣し、支援を行った。 理学療法士：13回 管理栄養士：8回 医師：2回 薬剤師：4回	○
3	認知症初期集中支援チームの効果的な運用	・ 認知症初期集中支援チームの運用 ・ 効果的な運用方法の検討	・ 関係機関と連携を図りながら、早期に必要な医療や介護サービス等につながるよう支援を行うとともに、その効果的な運用方法について検討を行った。 認知症初期集中支援チームの活動実績 チーム員会議 12回 訪問支援 39回	○

【基本目標4】 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の支援体制づくりの推進

くりの推進

No	施策（事業）	実施計画	実績	評価
4	在宅医療・介護連携による認知症高齢者へのサポート体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・草津市在宅医療介護連携センターの周知 ・多職種向けの研修会を開催し、関係者の互いの役割の理解を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ等を通じ、草津市在宅医療介護連携センターの周知を行った。 ・地域の医療・介護関係者が参画する会議を開催し、現状課題の抽出や解決策を検討した。 <p>多職種連携推進会議 3回 くさつ在宅医療ネット会議 4回</p>	○
5	認知症の人にかかるケアマネジメントとサービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議および自立支援地域ケアカンファレンスの開催 ・ケアプラン点検の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議を開催し、認知症の人やその家族が望む生活が送れるよう、支援の検討やネットワークづくりを行った。 <p>地域ケア個別会議 90回 自立支援地域ケアカンファレンス 20回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン点検を実施し、結果をフィードバックすることで適切なケアプランの視点を伝えた。 <p>ケアプラン点検 62件</p>	○
6	認知症高齢者への支給限度額上乗せサービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者への支給限度額上乗せサービスの実施 	<p>認知症高齢者が必要なサービスの提供を受け、安定した在宅生活を送るため、市の特別給付として、居宅介護サービス費の支給限度額の上乗せサービスを実施</p> <p>利用者数：延べ2,981人</p>	○

【基本目標4】 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の支援体制づく

りの推進

基本目標4の到達目標と実績

○認知症初期集中支援チームの対応により医療・介護サービス等の支援が必要な人が適切なサービスにつながった人の割合 80%

(令和3年度実績：60%)

○地域包括支援センターへの認知症に関する相談件数の増加

(令和3年度実績：2,341件)

※参考：令和2年度実績 2,215件

【令和4年度以降の取組】

・引き続き、認知症初期集中支援チーム員会議を開催し、医療・介護サービス等を必要とする人が適切にサービスにつながるよう支援を行う。

・引き続き、地域包括支援センターが認知症の相談窓口であることの積極的な周知を行う。

【基本目標5】 認知症の人およびその家族への支援

No	施策（事業）	実施計画	実績	評価
1	認知症なんでも相談所の活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> 認知症なんでも相談所のPR 	市HPにおいて認知症なんでも相談所のPRを行った。	○
2	認知症の人や家族が集える居場所の支援	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人と家族の会のPR 認知症カフェのPR 	<ul style="list-style-type: none"> 市HPにおいて認知症カフェの広報誌を掲載 健幸フェアにおいて、認知症の人と家族の会および認知症カフェのリーフレット・チラシ等を配布 認知症シンポジウムにて、認知症カフェなごみの体験会を開催 	○
3	家族介護教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> 教室の開催 	<p>認知症の人を介護している家族が、認知症の理解を深め、介護方法、対応方法などを学んでもらえるよう、家族介護教室を開催した。</p> <p>参加者：24名</p>	○
4	認知症の人およびその家族が安心して外出できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者等見守り検索システムの普及・推進 認知症ヘルプカードの活用の推進 認知症高齢者等個人賠償責任保険のPR 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者等見守り検索システム利用者数 51人 認知症ヘルプカード配布数 45人 認知症高齢者等個人賠償責任保険登録者数 222人 	○

【基本目標5】 認知症の人およびその家族への支援

No	施策（事業）	実施計画	実績	評価
5	成年後見制度の利用促進 および支援	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の普及啓発 ・成年後見制度の利用相談支援 ・市長申立手続きの実施 ・補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・市長申立手続きの実施 3件 ・申立費用および成年後見人等の報酬にかかる補助金の交付 申立費用の交付 13件、報酬 33件 	○
6	高齢者虐待防止の普及・ 啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙やホームページで啓発 ・リーフレットの配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャー向けの虐待研修を実施 ・パンフレットや広報紙、HPに高齢者虐待や相談・通報窓口を掲載 	○
7	高齢者虐待処遇検討会議 の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待処遇検討会議の開催 	高齢者虐待処遇検討会議を開催 開催回数 10回 事例数 16事例	○

基本目標5の到達目標と実績

○認知症高齢者等個人賠償責任保険登録者数 250人（令和3年度実績：222人）

○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において、「成年後見制度を知っているか」で「よく知っている」「まあ知っている」と回答する人が60%以上（令和元年度調査時：50.6%）
【ニーズ調査は令和4年度実施のため、実績なし】

【令和4年度以降の取組】

引き続き、個人賠償責任保険や成年後見制度について、市民およびその支援者向けに啓発を行い、必要な方に情報が届くよう取り組む。